

「義歯に安定をもたらす設計図」

岡本 信（おかもと まこと）

岡本歯科医院院長、OM デンチャーシステム代表

略歴：

1971年 広島県福山市生まれ

1996年 岡山大学歯学部 卒業（11期）

2000年 岡山大学大学院歯学研究科 修了

2000年-2006年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助手

2002年 スイスチューリッヒ大学 留学

2006年 岡本歯科医院 開院

2014年 OM デンチャーラボ 開設



その他：

- ・日本補綴歯科学会専門医・指導医
- ・博士（歯学）
- ・岡山大学歯学部臨床准教授
- ・福山知つとる検定3級

抄録：

例えば家を建てる場合、土地の面積や傾斜などを「測量」し、「設計図」を作成します。この「設計図」を元に大工さんが家を作ります。「設計図」が重要であることは、誰もが認める、当たり前のことだと思います。

印象採得と咬合採得は「測量」にあたります。つまり、決して能動的な治療行為ではなく、生体の情報を記録しているにすぎないのです。そして家を作ることが、歯科技工士による人工歯排列です。では、大切な「設計図」はどこに行ったのでしょうか？ 技工指示書でしょうか？ 「測量」ばかりに重点を置きすぎて、「設計図」のことを忘れてはいませんか？

私が考案した義歯製作方法(OM デンチャーシステム)では「オクルーザルマップ」と呼ばれる「設計図」を歯科医師と歯科技工士とが共有することで、機能的な安定をもたらす人工歯排列を可能としています。

今回は歯科医師と歯科技工士のコラボセミナーということですので、フルデンチャーの症例について、診療と技工の両面から解説とデモを行います。

またこのテクニックはフルデンチャーだけでなく、パーシャルデンチャーに応用することで非常に良好な治療成績を上げることが可能です。皆様の日々の臨床に直結した有用な講演会になることを期待しております。